



# 2019年3月期 決算説明資料

(2018年4月～2019年3月)

2019年5月10日



証券コード:1905

会社概要	3～4ページ
2019年3月期 決算の概要(連結)	5ページ
連結損益計算書の概要	6ページ
連結貸借対照表の概要	7ページ
連結キャッシュ・フローの概要	8ページ
売上高の推移(単体)	9ページ
売上高[地盤改良・杭工事]の状況(単体)	10ページ
2020年3月期の業績予想(連結)	11ページ
連結売上高予想	12ページ
2020年3月期の投資計画等について(単体)	13ページ
(ご参考)株価、配当金及び連結配当性向(2015/3期から2020/3期)	14ページ
(ご参考)連結業績推移(2015/3期から2020/3期)	15ページ
(ご参考)連結業績推移(10ヵ年)	16ページ

## 経営理念：人間尊重・技術志向・積極一貫

私達は、「信頼されるテノックス」として、これからも土や地盤と素直に向き合いながら、積極的に研究・開発を進めていくとともに、  
建築・土木構造物をお使いになられる全ての人々に、  
安全・確実な施工管理体制のもと、安心できる施工をご提供していくことをモットーに、  
お客様のご要望にお応えしてまいります。

本社	〒108-8380 東京都港区芝五丁目25番11号
設立	1970年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 佐藤 雅之
事業内容	・コンクリートパイル、鋼管パイルの販売及びその杭打工事の請負 ・地盤改良工事の請負
従業員数	(単体) 188名 (連結) 277名 ※2019年3月31日現在
拠点	(営業所) 北海道、東北、名古屋、大阪、中四国、九州の6ヶ所 (出張所) 北東北、郡山、北陸の3ヶ所 (機材センター) 東京機材センター
グループ会社	(連結子会社) (株)テノックス技研、(株)複合技術研究所 (非連結子会社) TENOX ASIA COMPANY LIMITED(ベトナム)

グループ会社名	事業内容
<p>(株)テノックス (当社)</p>	<p>基礎工事に特化した建設事業及び建設資材の販売 (主な工法) 杭工法 : TN-X工法、ガンテツパイル工法、TN工法 NSエコパイル工法、ATTコラム工法 地盤改良工法 : テノコラム工法、ピュアパイル工法</p>
<p>(株)テノックス技研</p>	<p>(株)テノックスに対する機材の賃貸を含む施工協力</p>
<p>(株)複合技術研究所</p>	<p>土木建築コンサルティング全般等に関する事業及び工事物件の斡旋</p>
<p>TENOX ASIA COMPANY LIMITED</p>	<p>ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等</p>

# 2019年3月期 決算の概要(連結)



- 売上高: 杭基礎工事で鉄道や震災復興関連工事、また地盤改良工事で物流施設や工場が増加したことなどにより増収
- 利益: 施工効率が向上し固定費を吸収したこと、また一般管理費を抑制したことで増益

■売上高	207億74百万円	前年同期比 +3億32百万円(+1.6%) ✓ 主に鉄道・震災復興関連等の杭基礎工事や工場等の地盤改良工事が完成
■営業利益	9億53百万円	前年同期比 +2億4百万円(+27.2%) ✓ 主に大型工事を複数施工したことで施工機の稼働が高まり固定費を吸収、また、一般管理費を抑制
■経常利益	10億10百万円	前年同期比 +2億24百万円(+28.5%) ✓ 主に営業利益の増益による
■親会社株主に帰属する当期純利益	6億40百万円	前年同期比 +1億16百万円(+22.2%) ✓ 主に経常利益の増益による
■受注高	191億99百万円	前年同期比 △9億95百万円(△4.9%)
■受注残高	56億48百万円	前期末比 △10億86百万円(△16.1%) ✓ 主に鉄道・震災復興関連の杭基礎工事が完成したことで減少

# 連結損益計算書の概要



(単位:百万円、%)

	2018/3	売上高 比率	2019/3	売上高 比率	前年同期比	
売上高	20,441	—	20,774	—	+332	+1.6%
売上原価	17,877	87.5%	18,121	87.2%	+243	+1.4%
売上総利益	2,564	12.5%	2,653	12.8%	+89	+3.5%
販売費及び 一般管理費	1,815	8.9%	1,700	8.2%	△114	△6.3%
営業利益	749	3.7%	953	4.6%	+204	+27.2%
経常利益	785	3.8%	1,010	4.9%	+224	+28.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	523	2.6%	640	3.1%	+116	+22.2%

# 連結貸借対照表の概要



- 流動資産:有形固定資産や自己株式の取得等により現金預金が減少
- 流動負債:工事損失引当金や未払法人税等が減少

(単位:百万円、%)

	2018/3末	2019/3末	前期末比	
			△	%
流動資産	15,140	14,026	△1,113	△7.4%
固定資産	2,852	2,739	△113	△4.0%
資産合計	17,992	16,766	△1,226	△6.8%
流動負債	6,084	4,600	△1,483	△24.4%
固定負債	514	528	+14	+2.8%
負債合計	6,599	5,129	△1,469	△22.3%
純資産合計	11,393	11,636	+243	+2.1%
(自己資本比率)	(61.7%)	(67.5%)	(+5.8ポイント)	—

2018/3末残高は、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を適用しており、科目を組み替えております。

# 連結キャッシュ・フローの概要

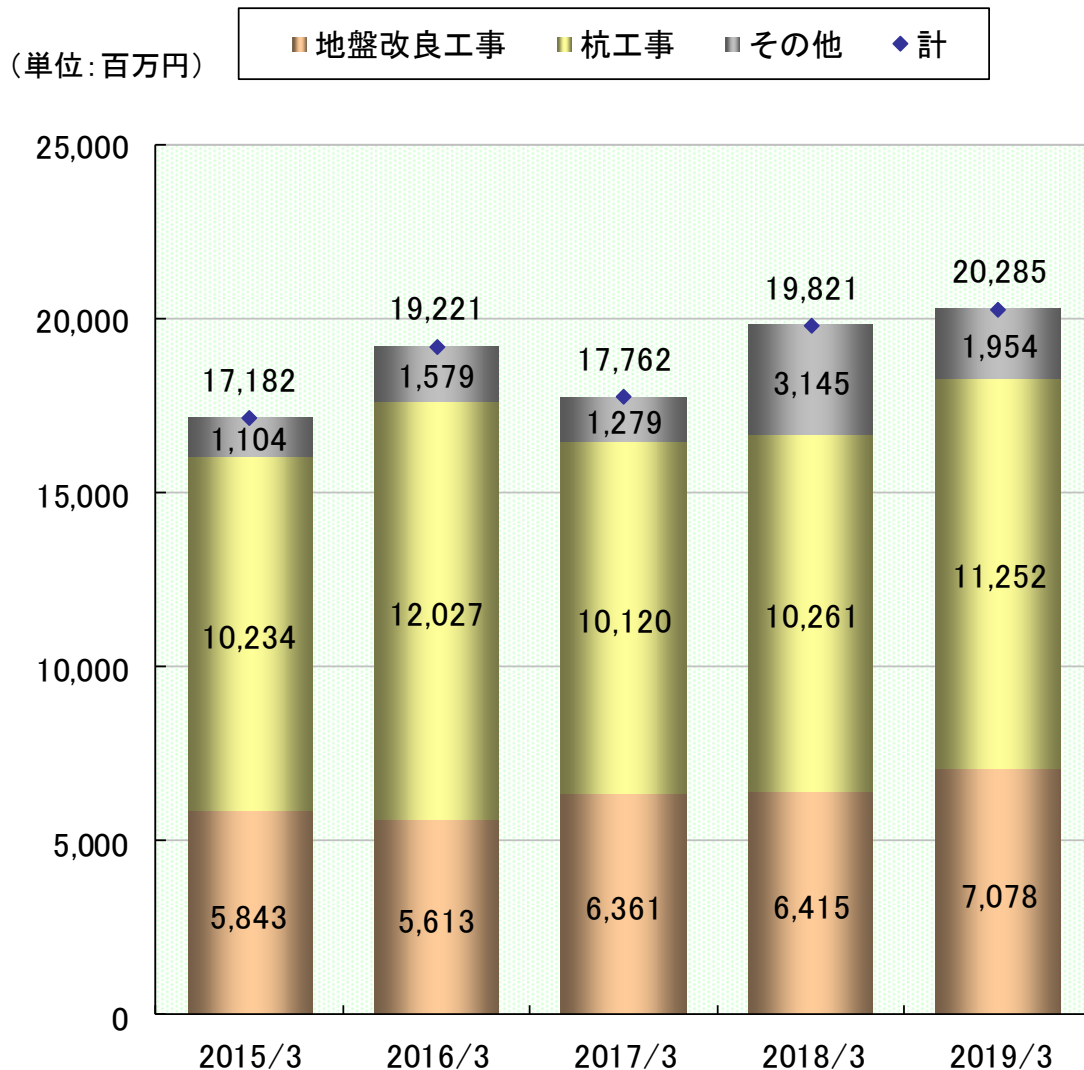


(単位:百万円)

	2018/3	2019/3	当期の主な要因	
営業活動による キャッシュ・フロー	+2,059	+217	税金等調整前当期純利益 減価償却費 工事損失引当金の減少 法人税等の支払	+10億15百万円 +5億16百万円 △8億30百万円 △5億79百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△407	△960	有形固定資産の取得による支出 投資有価証券の取得による支出	△8億66百万円 △1億50百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△205	△430	自己株式の取得による支出 配当金の支払額	△2億17百万円 △2億11百万円
現金及び現金同等物 の増減額	+1,446	△1,173		
現金及び現金同等物 の期末残高	8,599	7,426		



# 売上高の推移(単体)

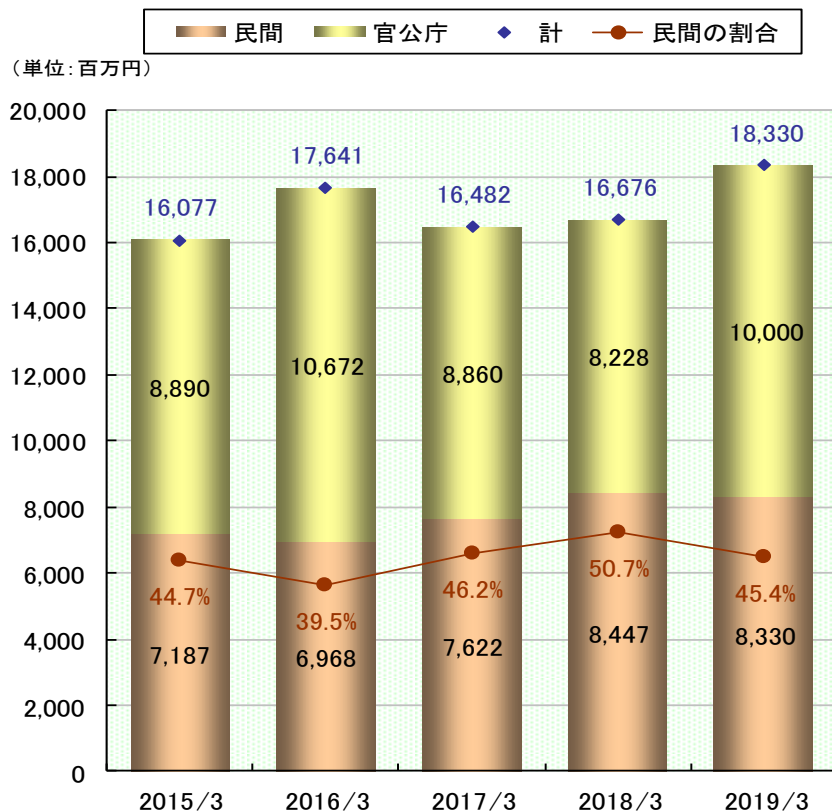


- **杭工事:**  
主に建築の基礎工事が減少したものの、鉄道や震災復興関連等の基礎工事が増加
- **地盤改良工事:**  
主に物流施設や工場関連工事が増加

# 売上高[地盤改良・杭工事]の状況(単体)

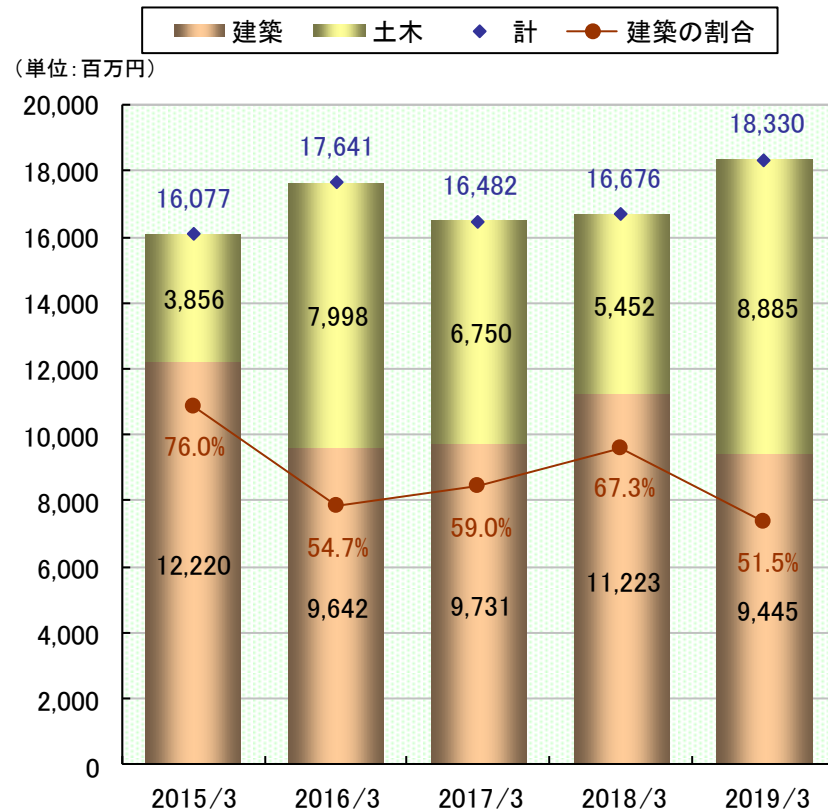


## 民間vs官公庁の推移(単体)



- 民間は、工場や店舗などが増加
- 官公庁は、鉄道や震災復興が増加

## 建築vs土木の推移(単体)



- 建築は、文化施設や物流倉庫などが減少
- 土木は、鉄道や震災復興が増加

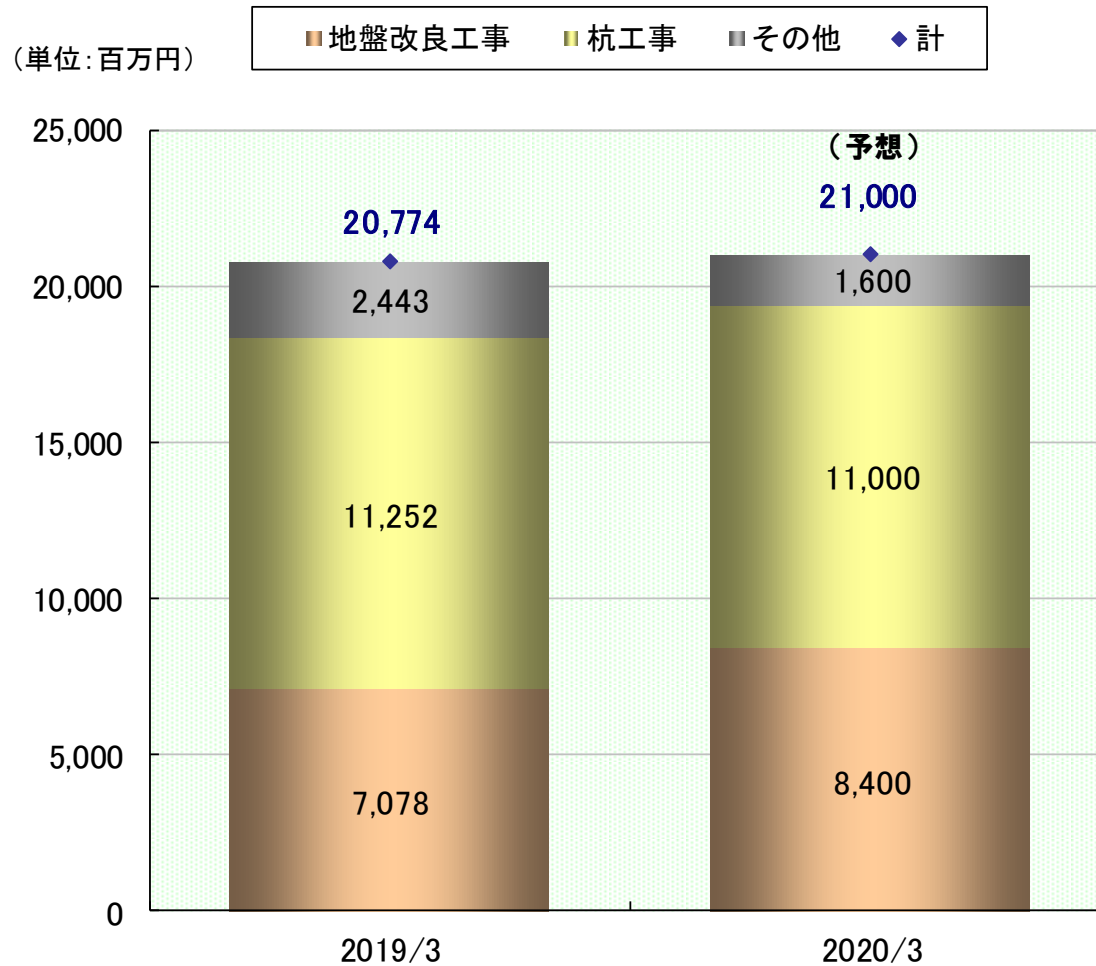
# 2020年3月期の業績予想(連結)



- 売上高: 鉄道高架橋などの杭工事が減少するものの、高速道路関連の杭工事が増加
- 利益 : 売上高は微増ながらも売上総利益の増加が、人件費等の増加を吸収

■売上高	《予想》 210億円	2019/3期比 +2億25百万円(+1.1%)
■営業利益	《予想》 11億50百万円	2019/3期比 +1億96百万円(+20.6%)
■経常利益	《予想》 12億円	2019/3期比 +1億89百万円(+18.8%)
■親会社株主に帰属する 当期純利益	《予想》 8億円	2019/3期比 +1億59百万円(+25.0%)

# 連結売上高予想



- **杭工事:**  
鉄道高架橋などが減少するものの、高速道路関連の工事が増加
- **地盤改良工事:**  
主に民間工場関連などが増加

# 2020年3月期の投資計画等について(単体)



収益力の強化に資するよう、投資の最適化を図る

■設備投資額	《予想》 8億円	2019/3期比 1億77百万円(+28.5%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■減価償却費	《予想》 5億80百万円	2019/3期比 +96百万円(+20.0%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■研究開発費	《予想》 1億60百万円	2019/3期比 +77百万円(+94.3%) ✓ 主に施工管理装置の高度化、保有工法の付加価値向上
■従業員数	《予想》 205名	2019/3期比 17名増



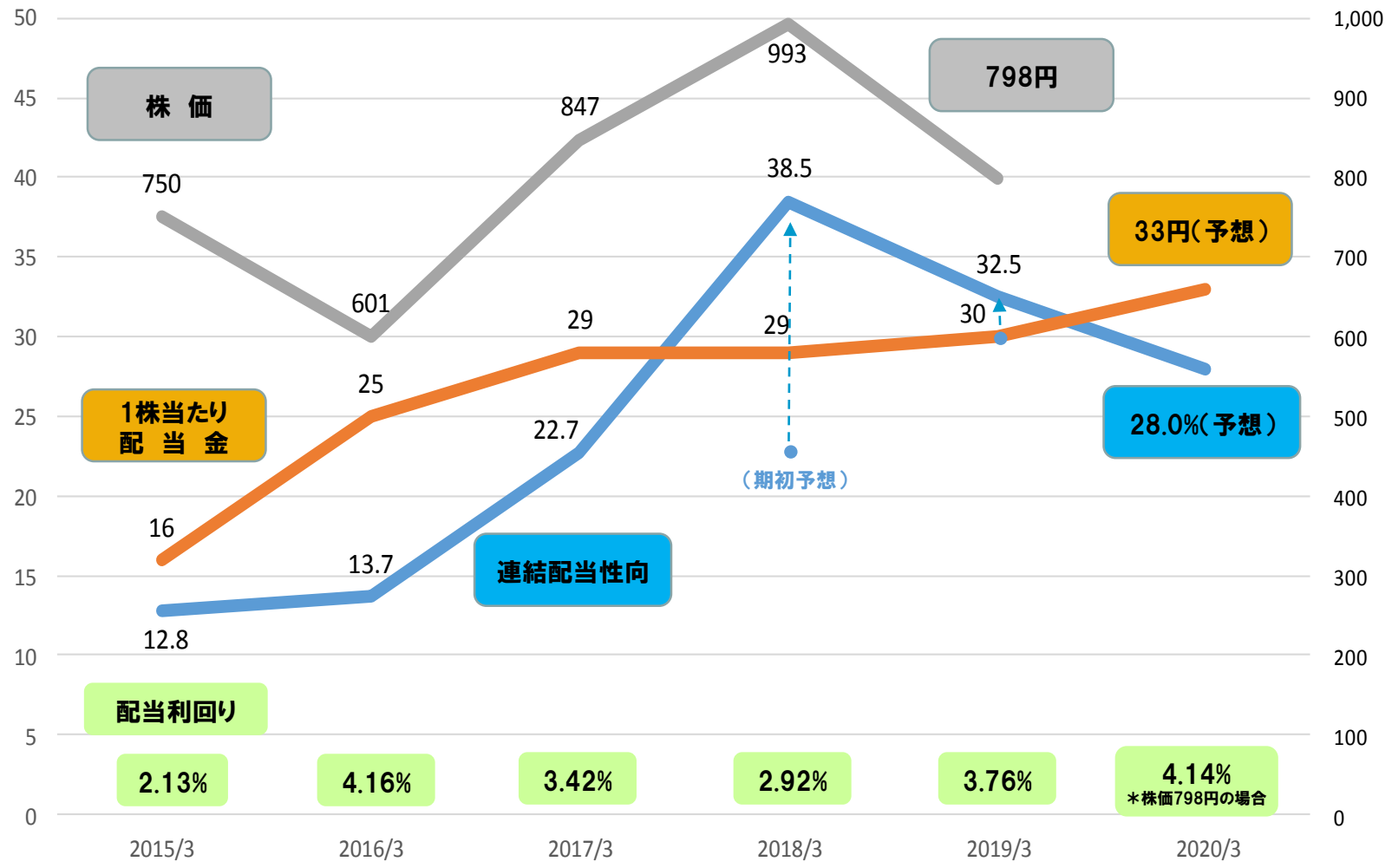
# (ご参考)株価、配当金及び連結配当性向(2015/3期から2020/3期)

(単位:%、円)

(単位:円)

1株当たり配当金(円)  
・  
連結配当性向(%)

株価

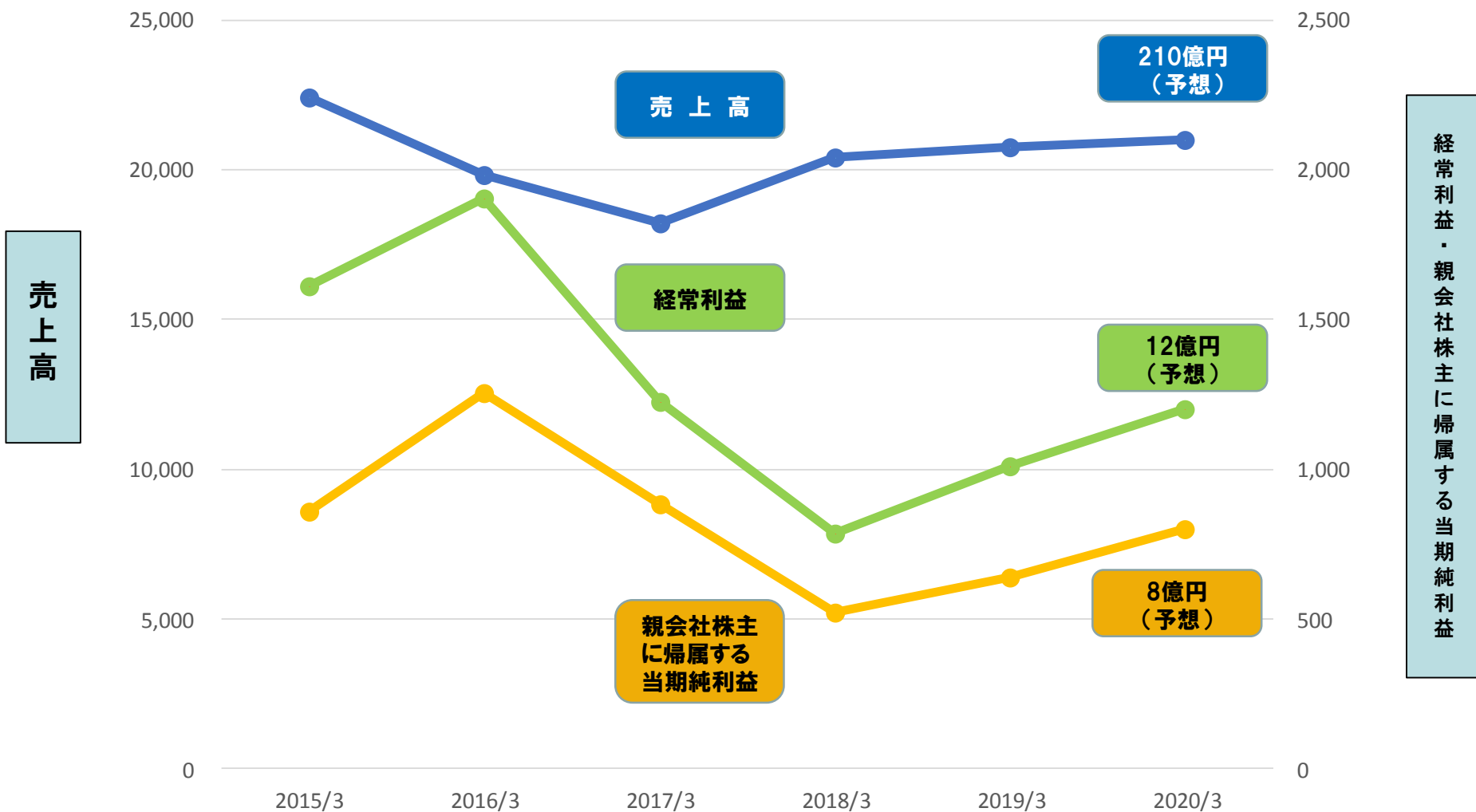


# (ご参考)連結業績推移 (2015/3期から2020/3期)



(単位:百万円)

(単位:百万円)



# (ご参考)連結業績推移 (10ヵ年)



(単位:百万円)

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3 (予想)
売上高	16,448	17,628	19,829	21,601	22,427	19,830	18,226	20,441	20,774	21,000
売上原価	15,155	16,042	17,338	18,305	18,834	16,296	15,432	17,877	18,121	
売上総利益	1,293	1,585	2,491	3,295	3,593	3,533	2,794	2,564	2,653	
販売費及び 一般管理費	2,092	1,877	1,946	1,981	2,051	1,570	1,732	1,815	1,700	
営業利益	△799	△291	544	1,314	1,541	1,962	1,062	749	953	1,150
経常利益	△786	△299	644	1,394	1,610	1,905	1,224	785	1,010	1,200
(売上高 経常利益率:%)	(△4.8)	(△1.7)	(3.2)	(6.5)	(7.2)	(9.6)	(6.7)	(3.8)	(4.9)	(5.7)
税金等調整前 当期純利益	△886	△310	639	1,420	1,633	1,900	1,214	748	1,015	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△735	△327	498	521	861	1,257	886	523	640	800
(売上高 当期純利益率:%)	(△4.5)	(△1.9)	(2.5)	(2.4)	(3.8)	(6.3)	(4.9)	(2.6)	(3.1)	(3.8)
	2011/3 期末	2012/3 期末	2013/3 期末	2014/3 期末	2015/3 期末	2016/3 期末	2017/3 期末	2018/3 期末	2019/3 期末	2020/3 期末(予想)
純資産	7,751	7,329	7,825	8,822	9,814	10,338	11,021	11,393	11,636	12,200
総資産	14,542	14,669	14,949	16,436	16,910	16,481	16,780	17,992	16,766	17,330

2018/3期末残高は、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を適用しており、科目を組み替えております。



環境と共存し、確かな技術力で  
社会と暮らしを支える



ホームページ: <http://www.tenox.co.jp/>

お問い合わせ先: 企画情報推進部 予算・IRグループ

<https://www.tenox.co.jp/contact/ir.html>

電話: **03-3455-7787**